大田・生活者ネットワーク　レポート　103 号　2018. 8. 1

大田・生活者ネットワーク区議会議員

きたざわ潤子

き　た　ざ　わ　じゅんこ

http://oota.seikatsusha.me

■発行／大田・生活者ネットワーク　■発行責任者／北澤潤子　■〒144-0052　東京都大田区蒲田 4-42-3 ｲｰｽﾀﾝｺｰﾎﾟ蒲田 302
■TEL 03-6424-7561　FAX 03-6424-7562　■E メール　oota@seikatsusha.net　■HP　http://oota.seikatsusha.me

西日本を中心とした記録的な大雨により、被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

住民目線の区政を！

6 月 25 日、第２回大田区議会定例会が終りました。「羽田空港跡地」58,958 ㎡を 165 億円で国から購入することが決りました。ここに作られる産業交流施設が果たして多くの区民にとって、メリットになるのでしょうか。経済効果は未知数。少子高齢社会における地域の課題は山積み。大田・生活者ネットワークはこの議案に反対しました。

「児童館条例の一部改正に反対」討論

「中高生ひろば」スタジオや楽器など付帯設備も無料にすべき

東糀谷児童館羽田分室が新設され、「中高生ひろば」事業が行われるための条例改正です。これまで大田区の課題であった中高生の居場所ができることは歓迎するものですが、スタジオや楽器など付帯設備が有料であることが記載されています。これは利用に制限をかけることになると考え、条例に反対しました。

今、不登校生徒や高校中退者も増え続けています。学校でもない、家でもない児童館の役割は重要で、職員には SOS を発信している子どもに気づく感受性や包容力、場合によっては他の機関との橋渡しをするコーディネート力なども求められます。子どもに寄り添い、生きる力を充電できる場所として、だれでも気軽に等しく楽しく利用できる居場所は無料であることが大切です。今後も無料化に向け取り組んでいきます。

きたざわ潤子プロフィール（きたざわ・じゅんこ）

■高知県生まれ 大田区池上 2 丁目在住■東洋英和女学院短期大学保育課卒業■日本女子大学通信教育課程家政学部児童学科卒業■幼稚園 16 年間勤務（めぐみ幼稚園、こひつじ幼稚園他）、嶺町幼稚園非常勤講師■日本保育学会会員■2011 年～大田区議会議員（現在 2 期目）■健康福祉委員会、防災・安全対策特別委員会

子育てに優しい公園を

遊び場の充実を求めて質問をしました。品川区民公園の紹介をしながら、木陰やベンチ、子どもの発想を取り入れた楽しい遊具の設置、そして全ての公園は無料であるべきだと訴えました。都市化が進み、伸び伸びと遊ぶことのできる空間が少なくなり、ボール遊びのできる公園はほとんどありません。園庭のない保育園が増える中で、公園の充実は子どもの成長発達にとって、また家族の憩いの場、人の温かい交流の場としても大きな課題といえます。

行政からは地域の声を把握し活かしていくとの回答を得ましたが、私たちも地域の中の貴重な居場所としての公園のあり方を多くの人と考えていきたいと思います。

区民の議会傍聴記

初めて区議会を傍聴しました。議員の質問中、熱心に耳を傾けている議員がいる一方で、発言している議員に背を向けて私語をしたり、別の資料を見ている議員など真剣さに欠ける態度に大変驚きました。私たち区民は投票してからも区議会を傍聴するなど自分の選んだ議員を応援・評価する必要があると感じました。

Ｙ．Ｋ